

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年8月8日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	塩谷町役場	代表者名	見形 和久
担当者部署	企画調整課	連絡先電話番号	0287-45-1112
担当者役職	主査	担当者氏名	星 愛
		連絡先E-mail	
住所	329-2292 栃木県塩谷町大字玉生741		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	限られた時間でありましたが、職員の職級に合わせて、非常に分かりやすく丁寧な講演をいただきました。研修テーマについても、町の希望に沿った内容や構成で細やかにご対応いただき、充実度の極めて高い研修となりました。受講者からも、「難しい内容かと思っていたが、実は身近なことであり、自身も関係が深い内容であることが分かった」等の声をいただいております。今後のDX推進に向けて弾みとなる機会をいただけたと感じております。
アドバイザーへの要望事項	今後ともご縁がありましたら、ぜひご指導をお願いしたいと思っております。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年6月17日	講演(実地)	有	令和4年5月18日	13
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和4年7月28日	講演(実地)	9時30分	16時00分	60
				活動時間(分)	330
3-2. 派遣場所	会場名	塩谷町役場	最寄駅	矢板駅	
	所在地	塩谷町役場	最寄駅からの交通手段	町送迎	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	46人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	
	全庁的なDX推進への理解・必要性の浸透が図れておらず、どのような検討を行い、取り組む必要があるか、職員間の意識に差異がある。令和5年秋に予定している庁舎移転を契機に、庁内におけるデジタル技術の活用及び業務効率向上、町内に向けた町民サービスの向上やデジタル格差の縮小を図る事業へ取り組むことができる職員の育成が必要となっている。	
	支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	
	自治体DX推進を実施すべく、町内及び庁内のデジタル化やDX推進計画の策定を進めたいと考えているが、DX推進の基礎知識に部署間や職員間で差異があることから、職員間での意識統一と機連醸成を図り、DX推進の取組を実行できる人材育成を行う。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	1. DXの理解（DXと情報化の違いと背景、地域共生社会との関係） 2. 町第6次振興計画とDXの関連性 3. DXの進め方（DXが進む考え方、事例紹介） 4. 幹部職員に対する意識改革	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	職員の多くは、DXについて言葉は聞いたことがあるものの、具体的にどのようなものであるか理解ができていない状況でありましたが、講義を受けたことにより、DXへの理解、進め方のヒントを得ることができた。漠然とした段階から、一歩前進し、DX推進についての共通認識が得られ、若手職員を中心に機運醸成を図れた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	共通認識を持たせた段階から、次の一歩である町としてDXを具体的にどう取り組んでいくかに関しては今後の課題であるため、講義から得たものをワーキンググループで共有し、全体方針の策定を進めたいと考えている。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	1. DX推進全体方針の策定 2. 具体的取組内容の検討	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



